

電気・空調・水…

ユーザーが使う部分に 直接かかわれるのが設備職

山浦 廉司 設備施工

五洋建設株式会社 設備職4年目 / 工学部電子工学科卒業
現在の担当案件: 冷凍冷蔵倉庫(5階建、鉄骨造、延床約3万m²)

働き方を変える。建設業は変わっていく。

建設業

週休二日

すべての職

“建築設備”を選んだワケ

大学では工学部電子工学科で学び、それを生かせる仕事ということでゼネコンの設備職担当になりました。もともと両親も建設業で働いていたので、その影響も多少あります。設備職は、「電気」「空調」「水」など多様な分野を扱います。もともといろんな分野に興味があるので、自分に打ってつけだと思いました。

設備施工の仕事の面白さとは!?

特に設備関係は建物の完成に近い部分を担うので、達成感もあるし責任も大きいと感じます。「電気が点かない」「水の圧力が足りない」「何か漏れる」…使ってみて最初にクレームが来るのが設備です。そういうユーザーが使う部分にダイレクトに携われるのが魅力ですね。冷凍冷蔵倉庫の現場を担当したときに、設計図上では床防熱による下がりスラブが考慮されていないのでは…というのが見て取れました。このままだと収まらないのでは…という懸念があったのですが、鉄骨梁に補強リングを設置してうまくいきました。このままだと収まらないのでは…ということがありました。「補強リングすごいな」と思ったのと同時に、そういう一見収まらないようなスペースにうまく工夫して収められた時に設備職の醍醐味を感じました。

設備施工職の役割とは

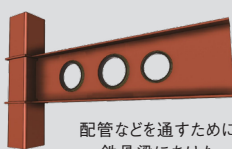
専門工事会社であるサブコンさんがそれぞれの仕事をすれば、ゼネコンがいなくても作業は進められます。ただ、サブコンさんは自分の領域をやり遂げるのが最優先なので、ゼネコンが全体を見て調和させる必要がある。そういう役割だと思っています。

学生に向けて(向いている人)

たいていの場合、現場で設備担当は一人か二人だけなので、建築主と直接話す機会も多いです。そこでこちらから話しかけて、知識や情報に対してどん欲になれるような人がこの仕事に向いているんじゃないでしょうか。



設備について、お客さんに直接説明をするので、専門工事会社のみなさんとのコミュニケーションを大切にしている

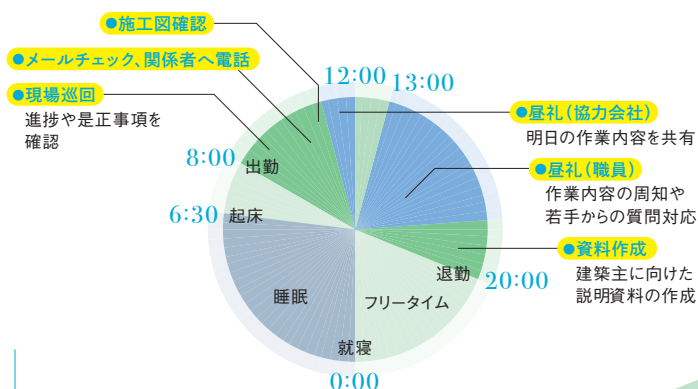


配管などを通すために鉄骨梁にあけた穴を補強するリング

今は関連する資格の取得に向けて、勉強中です!



My Favorite



One day with me

※所属や経歴は取材当時(2025.2)のものです